



～夢・未来へ～  
町民と議会をつなぐ

第82号

令和元年7月17日



QRコード

# 河津町議会だより

定例会議案・町長の行政方針	2～3
一般質問	4～9
第一・第二常任委員会視察報告	10～11
岩手県普代村・山田町視察研修	12～13
読者アンケート	14
私も一言(土屋常平さん)・議会の動き	15～16





# 第二回定例会議案(要旨)

6月11日、12日の両日  
第二回定例会が開催され  
た。

議案は報告案件1件、  
専決案件3件、条例案件  
4件、補正予算3件の全  
11件が審議され可決され  
た。

◎**報告第1号(全員賛成)**  
平成30年度河津町一般  
会計繰越明許費繰越計算  
書について

◎**承認第2号(全員賛成)**  
専決処分承認を求め  
ることについて  
(河津町税条例等の一部  
を改正する条例について)

◎**承認第3号(全員賛成)**  
専決処分の承認を求め  
ることについて  
(平成30年度河津町一般  
会計補正予算(第7号))

◎**承認第4号(全員賛成)**  
専決処分の承認を求め  
ることについて  
(平成30年度河津町国民  
健康保険特別会計補正予  
算(第3号))

◎**青山学院大学との連携  
協定によるイベント**  
『青山学院カーネー  
ションイベント』を5月  
10日に同大学キャンパス  
で実施した。

◎**地域の防災・減災と低  
炭素化を同時実現する自  
立・分散型エネルギー設  
備等導入推進事業**  
国の補助事業の採択を  
目指し、広域避難場所に  
なっている中学校の校舎  
屋上に太陽光パネルを設  
置し、蓄電装置を設け、  
外部電力停止時に電力を  
供給できるシステム。

◎**プレミアム付商品券事  
業**  
消費税・地方消費税率  
の引き上げが予定され、  
低所得者と3歳児未満の  
子育て世帯の消費に与え



市長 重宏 岸

◎**議案第25号(全員賛成)**  
河津町森林環境整備促  
進基金条例の制定につい  
て

◎**議案第26号(全員賛成)**  
河津町国民健康保険税  
条例の一部を改正する条  
例について

◎**議案第27号(全員賛成)**  
河津町介護保険条例の  
一部を改正する条例につ  
いて

◎**議案第28号(全員賛成)**  
河津町災害弔慰金の支  
給等に関する条例の一部  
を改正する条例について

◎**議案第29号**  
令和元年度河津町一般  
会計補正予算(第1号)  
【討論】子育て支援施設  
の基本設計委託補正予算  
について

◎**反対 討論**  
渡邊弘議員  
・コンセプトを持ち大前  
提があつて設計に入っ  
ていくのではないか。  
町の腹案を議会に示し、

る影響を緩和するととも  
に地域における消費を喚  
起することを目的として、  
20%のプレミアム付き商  
品券を発行する事業。

◎**都市と農村の交流事業  
農業体験**  
東京都渋谷区と「さか  
さがわ実りの里」に協力  
いただき、地域おこし協  
力隊の参加を得て、逆川  
地区の水田で田植えの体  
験を行った。

◎**ふるさと納税推進事業**  
今年度はふるさと納税  
の新たなポータルサイト  
への掲載をおこなう準備  
を進めている。

◎**愛護動物事業**  
猫の不妊去勢手術費補  
助金交付制度を開始、情  
報交換を行う伝言板「ポ  
チとニヤンチの愛の伝言  
板」を文化の家図書館ホ  
ールに移設した。

◎**子ども子育て支援事業**  
子ども子育て会議を5  
月に開催した。子育て支  
援施設の内容と新たな事  
業計画策定について、今  
後4回の会議開催を予定

事業を進めていただき  
たい。  
・新しい事業をやるとき  
には、町民と一緒に理  
解をいただいで再度検  
討を願いたい。

◎**賛成 討論**  
遠藤嘉規議員  
・子育て支援施設は何年  
も前から必要とされ検  
討して来た。ぜひ早速  
に対応して設計に入っ  
ていただきたい。

採決結果は次の通り  
【反対】  
渡邊 弘 ・稲葉 静

【賛成】  
大川 良樹・桑原 猛  
渡邊 昌昭・遠藤 嘉規  
上村 和正・塩田 正治  
仲 里司 ・宮崎 啓次  
賛成者多数により可決し  
た。

\*議長は裁決に参加せず。  
◎**議案第30号(全員賛成)**  
令和元年度河津町国民  
健康保険特別会計補正予  
算(第1号)

◎**議案第31号(全員賛成)**  
令和元年度河津町介護  
保険特別会計補正予算(第  
1号)

◎**子育て支援施設整備事業**  
住民説明会を開催し、  
意見を伺った。これによ  
り建設候補地を保健福祉  
防災センター北側の町有  
地に決定し、整備事業を  
進めていく。

◎**健康増進事業**  
本年度から実施の健康  
マイレージ事業は、5月  
末時点で10人の応募があ  
つた。

◎**包括支援センター事業**  
今年度、包括支援セン  
ターとして主任介護支援  
専門員、社会福祉士、保  
健師の配置基準3職種体  
制が整った。多様化する  
高齢者福祉に対応してい  
く。

◎**治山事業**  
県は昨年9月の豪雨で  
被災した大鍋地区と川津  
筏場地区の公共治山事業  
をそれぞれ契約した。

1号)

## 町長の行政方針(抜粋)

◎**職員の人事異動**  
4月1日付で、34名の  
人事異動を発令した。

平成30年度の退職者は  
2名。社会福祉士1名、  
管理栄養士1名を含む一  
般事務職員6名を新規採  
用した。職員派遣は静岡  
県後期高齢者医療広域連  
合と伊豆半島ジオパーク  
推進協議会にそれぞれ1  
名、東河環境センターに  
技術職員を静岡県から派  
遣されている。

人事異動後における初  
動体制の確認を図るため、  
突発地震を想定した全職  
員参集訓練を4月24日の  
早朝勤務時間外に実施し  
た。

◎**消防団操法大会**  
令和元年度静岡県消防  
協会賀茂支部消防操法大  
会が6月9日、松崎町総  
合グラウンドで開催され  
た。河津町代表はポンプ

◎**静岡デスティネーショ  
ンキャンペーン**  
今年度は静岡デスティ  
ネーションキャンペーン  
の本番年であり、当町で  
も河津桜まつりから継続  
して駅前通りの街灯にハ  
ンギングバスケットを設  
置し、「花のまち河津」  
として花のおもてなしを  
行っている。

◎**伊豆縦貫自動車道関係**  
今年度は国予算で昨年  
度と比べ大幅に予算付け  
されていることにより、  
更なる工事の進捗を期待  
している。3会場で近隣  
住民の方を対象に事業者  
から説明が行われた。

◎**学校教育事業**  
熱中症対策として幼稚  
園遊戯室と小学校、中学  
校の普通教室に空調設備  
を設置するもので夏の猛  
暑時期前の完成を目指し  
ている。

◎**水道事業**  
経営健全化や財源確保  
の具体的方策を整理し、  
中長期的な経営を計画す  
る「水道事業経営戦略」  
を策定した。今後広報か  
わづやホームページ等に  
て公表する予定。

車操法の部に第2分団、  
小型ポンプ操法の部に第  
5分団が出場し、ポンプ  
車操法では入賞を逃した  
ものの3番員が最優秀選  
手賞を獲得し、小型ポン  
プ操法では1番員と2番  
員が最優秀選手賞を獲得  
し準優勝となった。

◎**土砂災害・全国防災訓練**  
6月は土砂災害防止月  
間となっており、6月2  
日に見高公民館にて土砂  
災害防止に関する出前講  
座を開催した。

◎**河津バガテル公園事業  
再生事業**  
来年度4月から指定管  
理により管理運営を行う  
団体の公募を開始し、6  
団体の申し込みを受け、  
今後は候補者を選定して  
いく。

◎**町政地区懇談会**  
情報公開と町民参加の  
まちづくりを推進するた  
め『河津町の将来を語ろ  
う』今年のまちづくりと  
予算』をテーマに6会場  
7回開催し、延べ172  
人が参加した。

◎**峰橋の通行止めについて**  
町道大堰峰線に架かる  
峰橋は長寿命命補修及び  
耐震化を含め検討したが、  
利用者の安全を確保する  
ため、4月1日から全面  
通行止めとしています。  
ご理解とご協力を願いた  
い。

◎**静岡デスティネーショ  
ンキャンペーン**  
今年度は静岡デスティ  
ネーションキャンペーン  
の本番年であり、当町で  
も河津桜まつりから継続  
して駅前通りの街灯にハ  
ンギングバスケットを設  
置し、「花のまち河津」  
として花のおもてなしを  
行っている。



# 町政を問う

# 一般質問



くわ はら たけし 桑原 猛 議員



賀茂支部消防操法大会

質問：実際に橋梁点検などをやっているが、橋梁だけでなく道路や水道、公共施設の老朽化に向けた優先順位、計画、予算化があるのか。  
町長：今年と来年にかけ総合計画をつくり直す、総合計画に合わせて3年ごとにローリング計画をつくっている。その中で

優先順位を決めて行う。建設課長：橋梁や道路等は、緊急性や危険度に応じて優先順位を決めて維持、修繕を行っている。  
質問：学校統廃合後の校舎の利用方法の検討も小学校統合とあわせて考えていかなければならないと思うが、  
町長：学校の関係ですが、

当然伊豆縦貫道との関係も含めて、あるいは今後の学校統合の関係も当然リンクしてくると思うので、そういうことも含めて今後検討していきたいと思っている。  
計画的に財政を見ながらやっていかざるを得ない。

## 質問 公共施設等の更新計画について

答え ローリング計画の中で優先順位を決める

質問：町長の施政方針にあった消防団活動の充実強化とは具体的にどのようなことか。  
町長：火災出動ですとか災害出動など、重要な役割を持っており、行政としてもまず団員の減少に歯どめをかけて、新たな団員確保に力を入

れる。  
総務課長：団員としての知識の習得や技術力の向上、また団員自身の安全確保対応など、各種訓練や救命講習等を実施している。  
質問：自主防の協力も一つの消防団の強化になるかと思うが、ご意見をお

聞かせください。  
町長：自主防災組織と消防団の連携はさらに強化していく必要がある。現在、国のほうでも機能別消防団という制度があり、もう少し一歩進んだ、組織のつくり方も含めて検討していきたい。

## 質問 消防団活動の充実強化について

答え 自主防との連携を強くして対応

# 町政を問う

# 一般質問



東河環境センター建物全景



わた なべ ひろし 渡邊 弘 議員

質問：公的病院の基準は。町長：一般的には自治体が経営する病院だと思っている。他にも日本赤十字社・公益社団法人などがある。  
質問：病床数の変化により補助金額が変わるのか。国の制度改正により町の負担がいつから変わったのか。

町長：町の補助金要綱がある。特別交付税の算定基礎により町長が定めている。  
健康福祉課長：平成26年度より補助を実施。平成28年度より国の制度改正に伴い国が8割、町が2割の負担となった。  
質問：補助金の対象条件が150床以下となつて

いる。病床数の削減は町に相談があるのか。交付の可否は町長だけで決めているのか。  
町長：病床数は県に届出すれば許可が下りる。交付は申請書が出て決めている。  
健康福祉課長：町の負担額は28年度より3ヶ年で3千737万円である。

## 質問 汚泥の処理はできているか/河津桜の経済効果と今後

答え 搬入を割当て調整している/県市町に祭りの効果を示したい

質問：汚泥の受入れに規制があり業者の収集が1カ月2カ月できない事もある。その結果汚れた水が河川に流出し環境汚染になっていないか。状況を把握しているか。  
町長：事業者の状況は承知していない。調査は必要と思う。汚泥が流出することはないと、

確認をする。  
質問：汚泥の中にオイルの混入があり処理能力に支障がある。事業者との協議が必要では。  
町長：家庭用の油が多いのかと思う。  
町民生活課長：処理の過程でスカムが発生し浮遊蓄積する。合併浄化槽の使い方を周知したい。

質問：桜まつり経済効果が伊豆半島全体で212億円、河津町で27億円。実感が無いがどう捉えるのか。  
町長：県、各市町に全体のお祭りとして示していく。  
質問：河津桜の保護育成原木も含め認定制度は。  
町長：原木二世の育成も考えるべき。



# 町政を問う

# 一般質問



わた なべ まさ あき  
渡 邊 昌 昭 議員



整備中の大鍋林道

# 町政を問う

# 一般質問



おお かわ よし き  
大 川 良 樹 議員



河津町の民泊届け出のゲストハウス

### 質問

大学連携、※ARなどを活用した、新しい観光開発を

答え まちづくりをする中で、やる事があれば検討する

質問：賀茂地域広域連携会議のメンバー、目的は。町長：土屋副知事を議長に、賀茂地区1市5町の首長、森県議の8名で構成、広域連携の中で共通課題に取り組み、効率の良い行政推進をする。

質問：会議課題の一つとして県内公立大学と自治体の連携というものがあ

り、それを誘致し、学生と共に、ARなどを活用し、オフシーズン、河津桜にスマホなどをかざすと、一番美しい時の桜が見えたり、インバウンド対策として多言語表記をしたり、新しい観光開発をする為、大学との連携推進ができないものか。

町長：昨年、河津IC周

### 質問

民泊新法施行後、河津町の民泊状況は

答え 県下1399施設の届け出、町内では2件

質問：昨年6月15日に「民泊新法」が施行開始され、1年が経過した。河津町内における民泊の届け出状況、今後、町として民泊の取り扱いの方向性は。町長：町内の民泊状況は、少数と聞いているが、今後増えると思われる外国人観光客の受け入れ施設として注目している。こ

れを規制することはできない、民泊は民泊としての機能や役割を強調し、他の宿泊施設と協働し、誘客宣伝を行い、お客様ニーズに合った、宿泊施設を選ぶ選択肢が増えれば良いと思う。

町民生活課長：31年度3月期のもので、県下1399施設の届け出があり、河津町内では、2施設の登録があった。

※AR（拡張現実）＝一般的には、実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示することで、目の前にある世界を「仮想的」に拡張するというもの

### 質問

町道大鍋寺ノ上線（大鍋林道）の整備は

答え 現状の現物支給で対応していただきたい

質問：大鍋林道は地域住民の生活道路であり、わさび生産者には圃場に向かう重要な道路であるが整備が進まない現状である。今後はどのように整備していくのか。

町長：町としてもわさび沢に向かうための必要な道路であることから、基本的な管理は原材料支給など現状と同じような形で今後も検討していく。

町長：ふるさと林道は県が代行して林道整備を行うもので管理者は町となる。町道を林道にする必要があり、制度上の難しさもある。

### 質問

伊豆縦貫道河津IC周辺へ「道の駅」の設置は

答え 選択肢の一つ

質問：IC（インターチェンジ）周辺の整備については多くの魅力を発信する必要があるが、観光客を呼び込むためにも「道の駅」が必要ではないか。

町長：今後いろいろな意見を集約して提案が出されるが、その中で「道の駅」もひとつの選択肢として検討されるのではないかと。逆川IC周辺には下田市と

共同で何かできないかとの今後の検討課題になっている。

質問：循環型の観光ルートを考え東伊豆町や下田市白浜地区もICを利用すると思われるが連絡調整はどのようにしているのか。

町長：伊豆縦貫自動車道ができればいいということではなく関連するアクセス道路の充実が大事、令和元年

度の伊豆縦貫自動車道天城峠道路及びアクセス道路網建設促進期成同盟会総会で新たに東伊豆町の加盟が承認された。西伊豆町が昨年加盟。賀茂地区がひとつになった。縦貫道を中心としたアクセス、あるいは縦貫道本体の促進を含めて今後近隣市町と一緒に歩調を合わせて、推進していきたい。



町政を問う 一般質問



うえむら かずまさ 上村和正 議員



子育て支援施設候補地

質問：施設概要及び今後のスケジュールは。  
町長：子育て関連施設が約400㎡、事務所が約100㎡、供用施設が約400㎡の合計約900㎡で、さらに外部施設として、遊び場が100㎡の概略面積。今後は、6月議会に基本設計、地質調査費を計上、

来年度以降に実施設計、建設工事を行い、完成時期を令和3年度中と考えている。概算工事費及び財源内容については、基本設計がまだ行っていない状況で答えは難しい。基本設計の結果により概算費用が決まってくる、その時点で示したい。  
質問：完成後の広域避難

所としての利用は。  
町長：今の時点で考えていない。ただ子供に対応できる施設という事で親子の避難所として活用出来る気もしている。運営の段階で検討していく。  
他「電力自由化」「商工会館の耐震補強工事」関連2件

質問 子育て支援施設建設候補地は  
答え 役場隣接地約1700㎡に計画

質問：水道及び温泉事業の経費削減は。  
水道温泉課長：水道事業の現状を踏まえ、設備の更新には、ランニングコストも含め計画している。モーターの効率化や新たな水源確保などで低減していきたい。温泉事業については、コスト削減

は難しいが将来的な大きな経費に備え、資金の内留保が出来るよう努める。  
質問：水道ビジョンでは、基本料金1633円35%増の試算をしているが、スケジュール、公表等は。  
町長：据置かれた水道料については、改定の必要

性を指摘され、昨年度に「水道ビジョン・経営戦略」を策定し、事業の経営について検討してきた。現状の水道事情についても町議会での説明や広報紙でも継続し周知を図っている。今後の検討事項も水道委員会と協議を経て、町民に公表したい。

質問 水道料金改定は  
答え 将来、料金の改定は必要。試算では35%の値上げ

町政を問う 一般質問



自転車トラックレース競技場「ベロドローム」



えんどう よし のり 遠藤嘉規 議員

質問：オリンピック・パラリンピックが開催されるが、町の対応は。  
町長：今後行われるイベント等でPRに力を入れていきたい。聖火リレーは下田市には来るが河津町は来ない。正直なところは、合宿等が行われている他、各種要件の中で選

ばれたと聞いている。  
教育長：県のオリンピック・パラリンピック推進課から、学校の参観希望の意向調査があり現在実施している。町教育委員会では、授業に観戦が組み込めるか検討をしている。静岡県の児童・生徒がオリンピックで観戦可能な種目は、伊豆市と小山町での自転車競技。パ

ラリンピックでは、自転車競技と新国立競技場での陸上競技となっている。多くのことを学ぶ大変よい機会であるので、子供たちが参加しやすい体制づくりについて、今後検討を進めていきたい。  
他「伊豆縦貫自動車道路整備」関連1件

質問 オリンピック・パラリンピックへの対応は  
答え 学校の授業に観戦が組み込めるか検討している。

質問：消防団の夜間招集サイレンが鳴らない。消防団員や多数の町民が不安だと言っている。対応を検討してはどうか。  
総務課長：夜間火災時の1次出動の招集サイレンの停止は、10年前から検討されている。火災発生地区周辺以外の住民より「やかましい」「目が覚めた」等の苦情や意見が

何度となくあった事、消火活動中に心配のあまり他地区の住民が現場に集まり、消火活動に支障が生じた事、現在庁舎の夜間警備について外部委託した事等が理由。一昨年前から消防団と協議、調整を図り、議会にも説明している。  
町長：社会情勢の変化かも知れないが、消防のサ

イレンだけではなく、通常の同報無線等も苦情が来ている。他の市町の状況を調査したが、既に夜間サイレンを停止している所が多く元に戻すことは大変難しい。  
現状の仕組みの中で、出来るだけ経費をかけずに見直すことがあれば取り組んでいきたい。

質問 消防団の夜間招集サイレンを止めた経緯は  
答え 住民より苦情や意見が何度となくあった



# 第一常任委員会研修視察報告 「デマンド型公共交通先進地」

## 日時場所

平成31年1月

16日(水)

三重県度会郡玉城町

17日(木)

三重県度会郡南伊勢町

## 視察内容

①地域公共交通の実情(背景)

②デマンドバス概要(運行方法・システムなど)

③運行経費及び課題

④現地見学

## 参加者

委員長

副委員長

委員

遠藤 嘉規  
桑原 猛  
上村 和正  
仲 里司  
土屋 貴  
宮崎 啓次  
鈴木 英光  
渡辺 亮平

デマンド型公共交通は利用者の事前予約に応じて、経路やスケジュールを合わせて運行する事で、利便性を向上し、利用率などの問題解決を目指す取り組みとして、各地で取り組まれている地域公共交通サービスである。町内では公共交通機関として民営の路線バス、町が民間に委託している自主運行バス、町営の町バスの3種類があり、利用率や運行経費などの問題を抱えている。これらを一部デマンド化し利便性を向上する事で利用者を増やす事につながる事が可能と考える。今回、第一常任委員会では、デマンド型公共交通の先進地である三重県の玉城町と南伊勢町を視察した。

# 第二常任委員会研修視察報告 「小中一貫教育について」

## 日時場所

平成31年1月

23日(水)～24日(木)

沼津市  
沼津市立静浦小中一貫学校  
浜松市  
浜松市立庄内小学校  
庄内学園  
浜松市立庄内中学校

## 小中一貫学校への変遷

各校とも人口の減少や児童数の減少により統合されたが、地域の住民の理解と協力が無ければならない。多くの説明会が開催され時間をかけて統合された。

## メリット・デメリット

### メリット

- 中一ギャップが軽減される
- 乗り入れ授業により専門的になる
- 異学年交流により社会性が伸長
- 教師の指導の幅が広がる
- 部活動への児童の参加
- 英語などの専門分野が伸びる
- 高等部の生徒が模範となる

### デメリット

- 合同行事により多忙
- 小中両方の教員免許保有者の確保が困難
- 会議が多くなる
- 時間の確保が難しい
- 授業変更が困難
- 全体集会が難しいなど

## 総括

当町での統合にあたり3小学校のそれぞれが地域文化、特色ある学校なのでそれぞれの特色を活かし、統合した事により今以上の河津全体の地域文化を活かした郷土教育、キャリア教育が出来る学校づくりを考えなければならぬ。また通常の小学6年、中学3年というカリキュラム編成も、今回視察した学校では、

### 玉城町

- 人口 1万5570人
- 東大方式
- 運営主体 社会福祉協議会(保健福祉会館内)
- 車両10人乗りワゴン
- 運賃 無料
- 運行コスト(年) 1970万8146円
- 運行時間 9時～17時
- 利用者登録が必要
- 予約 利用30分前まで
- 予約方法 電話・ネット・スマホアプリ・町内43カ所の設置型端末
- 通学バスとして利用可



玉城町元気バス

### 南伊勢町

- 人口 1万2742人
- AVプランニング方式
- 運営主体 (株)大新東へ委託
- 車両10人乗りワゴン
- 運賃 無料
- 運行コスト 100円～500円
- 運行コスト 3億7098万円(5年間契約)
- 運行時間 8時～17時
- 利用者登録なし
- 予約 リアルタイム
- 予約方法 電話
- 通学バスとして利用可
- 2町合併により運行エリアが広く、運行経費がかかる。



南伊勢町の予約センター

公共交通のデマンド化に当たり、玉城町では福祉事業として運行しており、運賃無料としているが、観光客など利用者登録をしていない町外者の利用が出来ないため、観光の町として考えると大きな問題がある。また、南伊勢町の様な民間委託の公共交通事業とするとコストの問題が大きい。この様な事を考慮すると、町内の公共交通の担当課は企画調整課となっているが、健康福祉課との協力体制、また買い物弱者対策などを考えれば産業振興課、子供たちの通学を考慮すれば教育委員会と各課の壁を越えて横断的に検討する事で、河津町方式のデマンド交通整備を検討すべきと考える。

議会としても町と協力しながら、使い勝手の良い公共交通の早期実現を目指したい。

- 9年間のスパンで教育する事が出来る
- 上級生が面倒を見るなど

### 静浦小中一貫校

4年・3年・2年

4年・2年・3年

4年・3年

梅ヶ島小中学校  
6年・3年  
とそれぞれの実情に合った教育編成としており、河津でも特色に合うカリキュラムを探す必要がある。

沼津市では、平成31年度に、静岡市では令和4年度にそれぞれの校区の



沼津市立静浦小中一貫学校での研修



静岡市立梅ヶ島小中学校での研修



# 岩手県へ議員視察研修 4月22日～4月24日

平成31年4月22日～4月24日、2泊3日で岩手県普代村・山田町へ議員視察研修を行った。

普代村は、平成28年地方創生事業の一つとして『華のまち・普代村』構想を掲げ、震災復興、村の活性化の一躍に河津桜を活用した村づくりを打ち出し、河津町とも交流事業を行っている。

山田町は、東日本大震災で壊滅的なダメージを受け、その際、町は職員を災害派遣し、また民間レベルでも、山田町の復興復旧のシンボルとして河津桜を植栽するなど、河津桜が取り持つ縁のある、町村へ視察研修を行った。

【故和村元普代村村長の強い信念】

## 奇跡の村と呼ばれた普代村



故和村元村村長顕彰碑

東日本大震災当時、普代村は、あの大津波から、人為的被害ゼロ、家屋倒壊ゼロ、『奇跡の村』として、称賛されました。そこには、先人の功績が語り継がれている。明治・昭和の時代、2度にわたる、大津波による、大きな被害を受けてきた。故和村元村長は、「二度あったことは、三度あってはならない」と多くの村民の反対を強い信念で貫き、「普代水門」の必要性を訴え事業着工完成させ、平成の東日本大震災の大津波から村を守った。

『緊急停止』  
熊谷分署長の体験談  
3月11日地震発生直後、津波に備え、分署からの遠隔操作で普代水門を閉鎖しようとしたが、余震でモーター保護のためのリミッターが作動し、緊急停止。水門操作を復旧する為、熊谷分署長が普代水門の機械室に到着、その時15時20分、津波の到達8分前、すぐさま手動でリミッターを解除し、熊谷分署長が海の方へ目をやると、「バツキ、バツキ」と物凄い音と共に「黒い塊」の津波が防潮林をなぎ倒す光景を目の当たりにし、必死に機械室の機械にしがみつき、熊谷分署長は九死に一生を得た。



普代水門研修



普代水門津波到達点

その津波の高さは、20mを超えるものだったが、水門は津波の勢いを防ぎ、津波は水門を越えたが、集落までは到達せず、最小限で被害を食い止めた。

普代水門、昭和47年着工から12年かけ昭和59年完成、総工費35億6千万円、高さ15・5m、延長205m



大津波を食い止めた太田名部防潮堤

東日本大震災の大津波では、高さ8・9mの位置で津波に耐え、防潮堤の外側の漁港では壊滅的な被害を受けたものの、防潮堤の内側では、浸水には至らず、住家が守られ最小限の被害に食い止めた。

### 山田町の視察研修の感想

今回の視察研修では復興計画のもと、中心部は新たな都市計画が行われ、道路や「マイルール」である三陸鉄道なども全線開通し、いたるところで水門工事や防潮堤の工事など復興が進んでいることを感じた。また静かで穏やかな湾内が多くの養殖筏で埋め尽くされた風景も印象に残った。

### 普代村・山田町被害概要

- （1）震源等
  - ・発生：平成23年3月11日（金） 14時46分
  - ・震源：三陸沖（北緯38度1分東経142度9分）
  - ・マグニチュード9・0
- （2）被災状況
  - 普代村
    - ・震度：5強
    - ・死者：0人
    - ・行方不明者：0人
    - ・津波高：24m
  - 山田町
    - ・震度：5強
    - ・死者：824人

### 河津桜が繋ぐ、復興復旧の絆

- ・行方不明者：1人
- ・津波高：8～10m



普代浜園地の桜

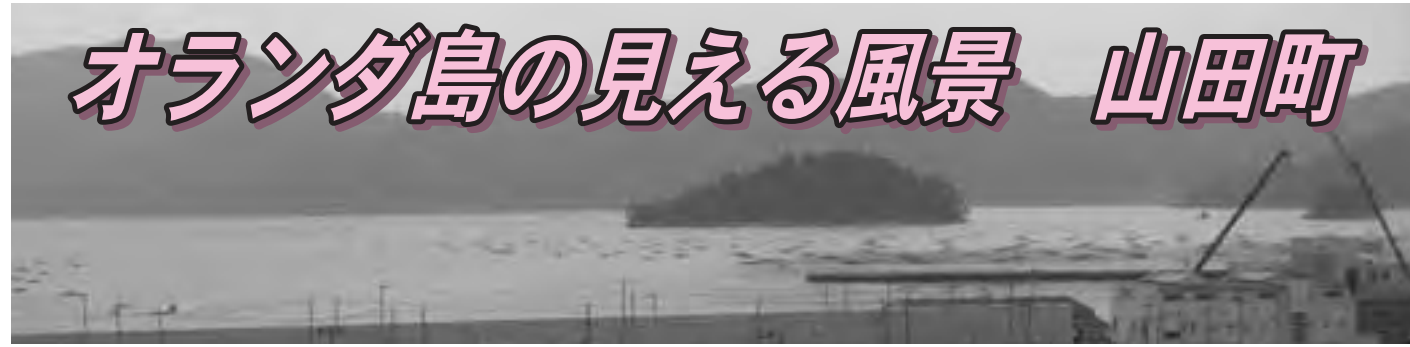


鯨と海の科学館の丘から望む河津桜

### 視察研修を通じて

私たち議員は、どうしても防災とか、減災とか様々な施策を、中心に考えがちである。しかし、施策だけではなく、大切なのは自分自身の立場（家庭・地域・仕事など）での防災についての「覚悟」が出来ているのか。今も仮設住宅で暮らす山田町議会議長から被災時の話しを聞いて、問われた気がした。

最近配布された、河津町の「防災ガイドブック」のキャッチには、「わたしのため・家族のため・みんなのため」とある。自助・共助というワードで括ってしまうのではなく、ぜひ町民の皆様も一読していただき、自分の立場で、被災時における行動を考えてみていただけたらと思う。



## オランダ島に見える風景 山田町





全国町村議会議長副議長研修会

この会は、県内の各地方公共団体の議会の議長が相互に連携し、地方自治の振興を図る事を目的に設置されている。予算規模は、歳入歳出それぞれ350万円余である。政策研修会の内容は次の通り。

### 静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会(静岡市)

5月31日

「これからの町村議会を考える」と題して講演がおこなわれ、「町村議会議長の議員報酬等のあり方 最終報告」及び町村議会特別表彰3町村の議会の取り組みが紹介された。

### 全国町村議会議長副議長研修会(東京)

5月28日

納申し入れ等について町当局より説明を受けた。

### 全員協議会

6月4日

全員協議会は町政全般にかかわることや、議会の運営に関することなどを協議するために議員全員でおこなう会議。町から報告案件1件、専決案件3件、条例案件4件、補正予算3件の全11件の議案の説明を受け、質疑をおこなった。

### 議員説明会

5月21日

河津バガテル公園事業再生事業、プレミアム付商品券事業、用地寄付採

### 議員月例会

5月20日

常任委員会視察報告及び一般質問に対する反問権について研修した。

# 読者アンケート

議会だより第82号

抽選で5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」プレゼント!!

お名前  
ご住所  
ご連絡先

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。お名前、ご住所、ご連絡先、各質問の回答をご記入の上、FAXあるいは郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。

締め切り  
8月末日必着

- FAX送付先：下記参照
  - 郵送先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2 河津町役場 議会事務局
- ※郵送の際の切手代等は各自ご負担願います。

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。複数回答可）

- 2～3P 定例会議案・町長の行政方針
- 4～9P 一般質問
- 10～11P 第一・第二常任委員会視察報告
- 12～13P 岩手県普代村・山田町視察研修
- 15P 議員月例会他・私も一言
- 16P 議会の動き・編集後記

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

- 1. 大変満足
- 2. まあまあ満足
- 3. もう少し
- 4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。

### 私も一言

河津町農業経営振興会  
会長 土屋常平氏



河津町農業経営振興会を紹介いたします。

本会は設立から本年度45周年を迎えました。部会と全会員を対象とした研修等を中心に活動しています。会員は、どこかの部会に属し果樹・花卉・そさい・いちご・わさび・ふるさと・朝市の7部会で構成され、活動は行政機関や各種農業御技術団体と連携と協調のもと支援と指導を仰ぎ新技術の研究と修得に努めています。

各種研修会により農産物の生産向上を図り生産から販売まで多様な活動を行っています。特に地元の新鮮で安全な農産物を学校の給食やホテル等への供給を行っております。

河津町の農業振興の課題は、伊豆半島特有の地形で不整形な農地は生産向上の障害となっております。農業者の高齢化はもとより有害鳥獣による農作物の被害は生産意欲の減退へつながっています。

又、本会では労力の軽減対策として歩行型の草刈り機の貸し出しを行っております。（産業振興課 ☎34-1946）  
本年度は「全国農業担い手サミット」が12月5日（木）～6日（金）に行われ、河津町のワサビ田も研修予定地とされており、農業を行いたい方の入会もお待ちしております。

# FAX番号 0558-34-1405

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報編集委員会より改めてご連絡申し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはありません。 議会事務局 0558-34-1957





議長 貴 高橋 隆

### 議会の動き

#### ● 議会議員会の事業

5月

・ 賀茂郡町議会議長会総会及び議長会議 (河津町)

◎ 今会議により土屋貴議長が賀茂郡議長会会長に選任された。

・ 全国町村議会議長・副議長研修会 (東京)

・ 静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会及び政策研修会 (静岡市)

※詳細はP15

#### ● 町議会活動

#### 町議会議員活動

3月

・ 伊豆縦貫自動車道河津下田道路Ⅱ期工事大鍋

・ 小鍋地区工事現場視察

・ 例月出納検査結果報告

3月

・ 例月出納検査結果報告

・ 議会広報編集委員会

・ 議員月例会

・ 河津バガテル公園で奉仕作業

・ 岩手県普代村・山田町の視察研修

※詳細はP12～13

・ 例月出納検査結果報告

・ 議会広報編集委員会

5月

・ 議員月例会

※詳細はP15

・ 議員説明会

・ 例月出納検査結果報告

6月

・ 議会全員協議会開催

※詳細はP15

・ 議会運営委員会

・ 議会広報編集委員会

#### ● 常任委員会関係議員活動

3月

・ (社)河津町社会福祉協議会理事會

・ 河津町文化の家運営協議会

・ 河津町町史編さん審議会

・ 第3回河津町社会教育委員会

・ 第2回学校給食運営委員会

・ 第一・二常任委員会

・ 河津町自衛隊協力会総会

・ 河津町国民健康保険運営協議会

・ 河津町共同募金委員会

・ 津町社会福祉協議会理事會

・ 新入学園児を交通事故から守る県民運動街頭広報

・ 河津町消防団幹部役員歓迎迎会

5月

4月

・ 伊豆食品衛生協会河津支部総代会懇談会

5月

・ 春の全国交通安全運動街頭広報

・ 伊豆地域道路シンポジウム

・ 下田警察署管内防犯協会総会

・ 河津町農産物振興会

・ 河津町商工会総会

・ 第80回黒船祭記念式典

・ 伊豆地域道路シンポジウム

・ 伊豆縦貫自動車道「天城峠道路」及びアクセス道路網建設促進期成同盟会総会

・ (社)河津町社会福祉協議会理事會

・ (社)河津町社会福祉協議会理事會

・ 新入学児を交通事故から守る県民運動街頭広報

・ 伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

・ 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会

### 編集後記

議会だよりに携わり3回目の編集作業となりました。町民の皆様は、議会の仕事をわかりやすくお伝えするにはどうすればよいか、考えております。アンケートも実施しておりますので、皆様のご意見をお聞かせください。今後の参考にしたいと考えております。宜しくお願い致します。(桑原猛)

#### 議会広報編集委員会

委員長 上村和正

副委員長 大川良樹

委員 桑原 猛

渡邊昌昭

遠藤嘉規

定例会の日程は、河津町ホームページでも確認できます。

議会だよりは、年4回(2月、4月、7月、10月)発行しております。次回は10月発行予定です。

河津町田中212-2  
sikai@town.kawazu.  
shizuoka.jp

議 会 傍 聴 歓 迎 し て お り ま す 。